

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー						
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解		
(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。		(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。			(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。			(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。		

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
1	ライティング1 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
2	ライティング1 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
3	リーディング1 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
4	リーディング1 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
5	スピーキング1 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
6	スピーキング1 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
7	リスニング1 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
8	リスニング1 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
9	ライティング2 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
10	ライティング2 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
11	リーディング2 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
12	リーディング2 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
13	スピーキング2 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
14	スピーキング2 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
15	ライティング3 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
16	ライティング3 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
17	日本語表現法1（含情報収集）	半期	演習	○	○			○		
18	日本語表現法2（含情報収集）	半期	演習	○	○			○		
19	情報処理1	半期	演習	○			○	○		
20	情報処理2	半期	演習	○			○	○		
21	キャリアプランニング	半期	講義	○	○	○	○	○		
22	ゼミナールⅠ A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
23	ゼミナールⅠ B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
24	ゼミナールⅡ A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
25	ゼミナールⅡ B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
26	ゼミナールⅢ A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
27	ゼミナールⅢ B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
28	ゼミナールⅣ A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
29	ゼミナールⅣ B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	○
30	英語学入門	半期	講義	○	○	○	○	○	○	

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー						
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解		
(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。		(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。			(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。			(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。		

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
31	英語文学入門（文学史）	半期	講義	○	○	○	○	○	○	
32	英語圏地域研究入門	半期	講義	○	○	○	○	○	○	
33	ヨーロッパ地域研究入門	半期	講義	○	○		○	○	○	
34	英語学と関連領域：知の森を覗く A	半期	講義	○	○		○	○	○	
35	英語学と関連領域：知の森を覗く B	半期	講義	○	○		○	○	○	
36	検定英語 1 A	半期	講義	○	○	○	○	○		
37	検定英語 1 B	半期	講義	○	○	○	○	○		
38	検定英語 2 A	半期	講義	○	○	○	○	○		
39	検定英語 2 B	半期	講義	○	○	○	○	○		
40	検定英語 3 A	半期	講義	○	○	○	○	○		
41	検定英語 3 B	半期	講義	○	○	○	○	○		
42	オーラル・コミュニケーション演習 1（発音トレーニング）	半期	演習	○		○				
43	オーラル・コミュニケーション演習 2 A（ドラマ A）	半期	演習	○	○	○		○	○	
44	オーラル・コミュニケーション演習 2 B（ドラマ B）	半期	演習	○	○	○		○	○	
45	オーラル・コミュニケーション演習 3 A（パブリック・スピーキング A）	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
46	オーラル・コミュニケーション演習 3 B（パブリック・スピーキング B）	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
47	オーラル・コミュニケーション演習 4 A（ディベート A）	半期	演習	○	○	○	○	○		○
48	オーラル・コミュニケーション演習 4 B（ディベート B）	半期	演習	○	○	○	○	○		○
49	メディア・コミュニケーション演習 1 A（メディア・イングリッシュ 1 A）	半期	演習	○	○	○	○	○		○
50	メディア・コミュニケーション演習 1 B（メディア・イングリッシュ 1 B）	半期	演習	○	○	○	○	○		○
51	メディア・コミュニケーション演習 2 A（メディア・イングリッシュ 2 A）	半期	演習	○	○	○	○	○		○
52	メディア・コミュニケーション演習 2 B（メディア・イングリッシュ 2 B）	半期	演習	○	○	○	○	○		○
53	アドバンスト・イングリッシュ 1 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
54	アドバンスト・イングリッシュ 1 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
55	アドバンスト・イングリッシュ 2 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
56	アドバンスト・イングリッシュ 2 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
57	スーパー・アドバンスト・イングリッシュ 1 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
58	スーパー・アドバンスト・イングリッシュ 1 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
59	スーパー・アドバンスト・イングリッシュ 2 A	半期	演習	○	○	○	○	○	○	
60	スーパー・アドバンスト・イングリッシュ 2 B	半期	演習	○	○	○	○	○	○	

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー					
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解	
(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。				(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。		(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。		(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
61	英語圏現地研修 A	半期	実習	○	○	○			○	○
62	英語圏現地研修 B	半期	実習	○	○	○			○	○
63	英語教育学入門 A	半期	講義	○	○	○		○	○	
64	英語教育学入門 B	半期	講義	○	○	○		○	○	
65	海外研修認定科目 1 A	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
66	海外研修認定科目 1 B	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
67	海外研修認定科目 1 C	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
68	海外研修認定科目 1 D	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
69	海外研修認定科目 2 A	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
70	海外研修認定科目 2 B	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
71	海外研修認定科目 3 A	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
72	海外研修認定科目 3 B	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
73	海外研修認定科目 3 C	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
74	海外研修認定科目 3 D	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
75	海外研修認定科目 4 A	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
76	海外研修認定科目 4 B	半期	実習	○	○	○	○	○	○	○
77	インディペンデント・スタディ A	半期	演習	○		○	○	○	○	○
78	インディペンデント・スタディ B	半期	演習	○		○	○	○	○	○
79	インターンシップA	半期	実習	○		○	○	○	○	○
80	インターンシップB	半期	実習	○		○	○	○	○	○
81	中国語基礎 1 A	半期	演習	○	○					
82	中国語基礎 1 B	半期	演習	○	○					
83	中国語基礎 2 A	半期	演習	○	○					
84	中国語基礎 2 B	半期	演習	○	○					
85	中国語中級 1 A	半期	演習	○	○					
86	中国語中級 1 B	半期	演習	○	○					
87	ドイツ語基礎 1 A（英語コース）	半期	演習	○	○					
88	ドイツ語基礎 1 B（英語コース）	半期	演習	○	○					
89	ドイツ語基礎 2 A（英語コース）	半期	演習	○	○					
90	ドイツ語基礎 2 B（英語コース）	半期	演習	○	○					

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー						
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解		
(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。		(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。			(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。			(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。		

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
91	ドイツ語中級1 A（英語コース）	半期	演習	○	○	○				
92	ドイツ語中級1 B（英語コース）	半期	演習	○	○	○				
93	フランス語基礎1 A（英語コース）	半期	演習	○	○					
94	フランス語基礎1 B（英語コース）	半期	演習	○	○					
95	フランス語基礎2 A（英語コース）	半期	演習	○	○					
96	フランス語基礎2 B（英語コース）	半期	演習	○	○					
97	フランス語中級1 A（英語コース）	半期	演習	○	○	○				
98	フランス語中級1 B（英語コース）	半期	演習	○	○	○				
99	中国語上級1 A	半期	演習	○	○				○	
100	中国語上級1 B	半期	演習	○	○	○			○	
101	ドイツ語上級1 A（英語コース）	半期	演習	○	○	○			○	
102	ドイツ語上級1 B（英語コース）	半期	演習	○	○	○			○	
103	フランス語上級1 A（英語コース）	半期	演習	○	○	○			○	
104	フランス語上級1 B（英語コース）	半期	演習	○	○	○			○	
105	スペイン語上級1 A	半期	演習	○	○	○			○	
106	スペイン語上級1 B	半期	演習	○	○	○			○	
107	アラビア語初級A	半期	演習	○	○					
108	アラビア語初級B	半期	演習	○	○					
109	モンゴル語初級A	半期	演習	○	○					
110	モンゴル語初級B	半期	演習	○	○					
111	ベトナム語初級A	半期	演習	○	○					
112	ベトナム語初級B	半期	演習	○	○					
113	英語学概論A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	
114	英語学概論B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	
115	英文法概論A	半期	講義	○		○				
116	英文法概論B	半期	講義	○		○				
117	英語音声学概論A	半期	講義	○		○	○	○		
118	英語音声学概論B	半期	講義	○		○	○	○		
119	英語学研究1 A（英語史A）	半期	講義	○	○	○		○	○	
120	英語学研究1 B（英語史B）	半期	講義	○	○	○		○	○	

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー						
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感			4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解		
(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。		(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。			(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。			(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。		

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
121	英語学研究 2 A (社会言語学 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	
122	英語学研究 2 B (社会言語学 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	
123	英語学研究 3 A (対照言語学 A)	半期	講義	○		○		○	○	
124	英語学研究 3 B (対照言語学 B)	半期	講義	○		○		○	○	
125	英語学研究 4 A (一般音声学 A)	半期	講義	○		○		○		
126	英語学研究 4 B (一般音声学 B)	半期	講義	○		○		○		
127	英語学研究 5 A (理論言語学 A)	半期	講義	○		○		○		
128	英語学研究 5 B (理論言語学 B)	半期	講義	○		○		○		
129	英語学研究 6 A (認知言語学 A)	半期	講義	○		○		○		
130	英語学研究 6 B (認知言語学 B)	半期	講義	○		○		○		
131	英語学研究 7 A (コーパス言語学 A)	半期	講義	○		○	○	○		
132	英語学研究 7 B (コーパス言語学 B)	半期	講義	○		○	○	○		
133	英語コミュニケーション研究 1 A (異文化コミュニケーション論 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
134	英語コミュニケーション研究 1 B (異文化コミュニケーション論 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
135	英語コミュニケーション研究 2 A (英語翻訳法 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
136	英語コミュニケーション研究 2 B (英語翻訳法 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
137	英語コミュニケーション研究 3 A (英語通訳法 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
138	英語コミュニケーション研究 3 B (英語通訳法 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
139	卒業論文 A	半期	演習		○	○	○			
140	卒業論文 B	半期	演習		○	○	○			
141	英語教育学概論 A	半期	講義	○	○	○	○	○		
142	英語教育学概論 B	半期	講義	○	○	○	○	○		
143	教科教育法 (英語) 基礎 A	半期	講義	○	○	○	○	○		○
144	教科教育法 (英語) 基礎 B	半期	講義	○	○	○	○	○		○
145	教科教育法 (英語) 応用 A	半期	講義	○	○	○	○	○		○
146	教科教育法 (英語) 応用 B	半期	講義	○	○	○	○	○		○
147	英語教育学研究 1 A (小学校英語教育 A)	半期	講義	○		○		○	○	
148	英語教育学研究 1 B (小学校英語教育 B)	半期	講義	○		○		○	○	
149	英語教育学研究 2 A (言語評価法 A)	半期	講義	○		○	○	○		
150	英語教育学研究 2 B (言語評価法 B)	半期	講義	○		○	○	○		

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー					
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解	
(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。				(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。		(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。		(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
151	英語教育学研究 3 A (ICT & CALL A)	半期	講義	○	○	○	○	○		
152	英語教育学研究 3 B (ICT & CALL B)	半期	講義	○	○	○	○	○		
153	英語教育学研究 4 A (第二言語習得論 A)	半期	講義	○		○		○		
154	英語教育学研究 4 B (第二言語習得論 B)	半期	講義	○		○		○		
155	英語圏の文化と社会概論 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
156	英語圏の文化と社会概論 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
157	イギリス研究 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
158	イギリス研究 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
159	アメリカ研究 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
160	アメリカ研究 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
161	オーストラリア研究	半期	講義	○	○	○		○	○	○
162	ニュージーランド研究	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
163	カナダ研究	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
164	中近東地域研究 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
165	中近東地域研究 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
166	東アジア地域研究 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
167	東アジア地域研究 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
168	東南アジア地域研究 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
169	東南アジア地域研究 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
170	南米地域研究 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
171	南米地域研究 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
172	地域文化学研究 1 A (英米言語文化研究 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
173	地域文化学研究 1 B (英米言語文化研究 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
174	地域文化学研究 2 A (英語文学研究 A)	半期	講義	○	○	○		○	○	○
175	地域文化学研究 2 B (英語文学研究 B)	半期	講義	○	○	○		○	○	○
176	地域文化学研究 3 A (異文化理解 A)	半期	講義	○	○	○		○	○	○
177	地域文化学研究 3 B (異文化理解 B)	半期	講義	○	○	○		○	○	○
178	地域文化学研究 4 A (ライフスタイル研究 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
179	地域文化学研究 4 B (ライフスタイル研究 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
180	地域文化学研究 5 A (カルチュラル・スタディーズ研究 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー					
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解	
(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。				(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。		(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。		(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
181	地域文化学研究 5 B (カルチュラル・スタディーズ研究 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
182	地域文化学研究 6 A (ファッション文化研究 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
183	地域文化学研究 6 B (ファッション文化研究 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
184	地域文化学研究 7 A (比較日本文化論 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
185	地域文化学研究 7 B (比較日本文化論 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
186	地域文化学研究 8 A (キリスト教研究 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
187	地域文化学研究 8 B (キリスト教研究 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
188	社会科学概論 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
189	社会科学概論 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
190	国際関係論 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
191	国際関係論 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
192	国際経済論 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
193	国際経済論 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
194	国際法 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
195	国際法 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
196	商法 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
197	商法 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
198	民法 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
199	民法 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
200	会計学 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
201	会計学 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
202	マスコミュニケーション論 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
203	マスコミュニケーション論 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
204	多文化社会 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
205	多文化社会 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
206	移民政策 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
207	移民政策 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
208	社会科学研究 1 A (多言語主義 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
209	社会科学研究 1 B (多言語主義 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
210	社会科学研究 2 A (国際機構研究 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー					
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解	
(1) 英語学および関連領域について の豊かな専門知識を有し、目標 学修言語を用いて円滑なコミュニ ケーションをとることができる。				(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。		(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。		(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
211	社会科学研究 2 B (国際機構研究 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
212	社会科学研究 3 A (国際交流研究 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
213	社会科学研究 3 B (国際交流研究 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
214	ツーリズム概論 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
215	ツーリズム概論 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
216	E S P 演習 1 A (観光英語 A)	半期	講義	○	○	○		○	○	○
217	E S P 演習 1 B (観光英語 B)	半期	講義	○	○	○		○	○	○
218	E S P 演習 2 A (ビジネス英語 A)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
219	E S P 演習 2 B (ビジネス英語 B)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
220	ツーリズム研究 1 A (サービス・マネージメント)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
221	ツーリズム研究 1 B (ツーリズム・マネージメント)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
222	ツーリズム研究 2 A (旅行・宿泊業論)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
223	ツーリズム研究 2 B (航空産業論)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
224	ツーリズム研究 3 A (ツーリズム政策論)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
225	ツーリズム研究 3 B (ツーリズム・プロジェクト)	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
226	身体表現演習 (英独系)	半期	演習					○	○	○
227	ドイツ語基礎 1 A (英独系)	半期	演習	○	○				○	
228	ドイツ語基礎 1 B (英独系)	半期	演習	○	○				○	
229	ドイツ語基礎 2 A (英独系)	半期	演習	○	○				○	
230	ドイツ語基礎 2 B (英独系)	半期	演習	○	○				○	
231	ドイツ語初級 2 A (英独系)	半期	演習	○	○				○	
232	ドイツ語初級 2 B (英独系)	半期	演習	○	○				○	
233	ドイツ語中級 1 A (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
234	ドイツ語中級 1 B (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
235	ドイツ語中級 2 A (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
236	ドイツ語中級 2 B (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
237	ドイツ語中級 3 A (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
238	ドイツ語中級 3 B (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
239	ドイツ語中級 4 A (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
240	ドイツ語中級 4 B (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー					
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解	
(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。				(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。		(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。		(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
241	ドイツ語上級3 A (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
242	ドイツ語上級3 B (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
243	ドイツ語上級4 A (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
244	ドイツ語上級4 B (英独系)	半期	演習	○	○	○			○	
245	ドイツ語圏の文化と社会概論A	半期	講義	○	○	○		○	○	○
246	ドイツ語圏の文化と社会概論B	半期	講義	○	○	○		○	○	○
247	ドイツ語圏現地研修A	半期	演習	○	○	○			○	○
248	ドイツ語圏現地研修B	半期	演習	○	○	○			○	○
249	ドイツ語圏地域研究A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
250	ドイツ語圏地域研究B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
251	ドイツ語圏文化研究A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
252	ドイツ語圏文化研究B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
253	東欧・中欧地域研究A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
254	東欧・中欧地域研究B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
255	身体表現演習 (英仏系)	半期	演習					○	○	○
256	フランス語基礎1 A (英仏系)	半期	演習	○	○				○	
257	フランス語基礎1 B (英仏系)	半期	演習	○	○				○	
258	フランス語基礎2 A (英仏系)	半期	演習	○	○				○	
259	フランス語基礎2 B (英仏系)	半期	演習	○	○				○	
260	フランス語初級2 A (英仏系)	半期	演習	○	○				○	
261	フランス語初級2 B (英仏系)	半期	演習	○	○				○	
262	フランス語中級1 A (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
263	フランス語中級1 B (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
264	フランス語中級2 A (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
265	フランス語中級2 B (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
266	フランス語中級3 A (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
267	フランス語中級3 B (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
268	フランス語中級4 A (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
269	フランス語中級4 B (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
270	フランス語上級3 A (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー					
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解	
(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。				(1) 社会的・世界的なことがらについて、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。		(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。		(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
271	フランス語上級 3 B (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
272	フランス語上級 4 A (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
273	フランス語上級 4 B (英仏系)	半期	演習	○	○	○			○	
274	フランス語圏の文化と社会概論 A	半期	講義	○	○	○		○	○	○
275	フランス語圏の文化と社会概論 B	半期	講義	○	○	○		○	○	○
276	フランス語圏現地研修 A	半期	演習	○	○	○			○	○
277	フランス語圏現地研修 B	半期	演習	○	○	○			○	○
278	フランス語圏地域研究 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
279	フランス語圏地域研究 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
280	フランス語圏文化研究 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
281	フランス語圏文化研究 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
282	アフリカ地域研究 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
283	アフリカ地域研究 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○	○
284	キャリアデザイン演習 1 A (秘書検定 1)	半期	講義	○		○	○	○		
285	キャリアデザイン演習 1 B (ビジネス検定 1)	半期	講義	○		○	○	○		
286	キャリアデザイン演習 2 A (秘書検定 2)	半期	講義	○		○	○	○		
287	キャリアデザイン演習 2 B (ビジネス検定 2)	半期	講義	○		○	○	○		
288	情報処理研究 1 A	半期	講義	○			○	○		
289	情報処理研究 1 B	半期	講義	○			○	○		
290	情報処理研究 2 A	半期	講義	○			○	○		
291	情報処理研究 2 B	半期	講義	○			○	○		
292	情報処理研究 3 A	半期	講義	○			○	○		
293	情報処理研究 3 B	半期	講義	○			○	○		
294	日本文化学概説 A	半期	講義	○	○	○		○	○	○
295	日本文化学概説 B	半期	講義	○	○	○		○	○	○
296	日本語学概論 A	半期	講義	○	○	○		○		
297	日本語学概論 B	半期	講義	○	○	○		○		
298	日本語学演習 A	半期	演習		○	○		○		
299	日本語学演習 B	半期	演習		○	○		○		
300	日本語教授法 A	半期	講義	○	○	○		○		

カリキュラムマップ：外国語学部 英語学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
1.豊かな教養と専門知識 およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力と それを支える思考・判断・表現力				3.自律的学習者として学び続け、 社会に貢献する意欲と能力、 社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や 本学の理念に対する理解	
(1) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を有し、目標学修言語を用いて円滑なコミュニケーションをとることができる。				(1) 社会的・世界的なことから、目標学修言語によるメディアからの情報を正確かつ批判的に読み取り、あるいは聞き取り、それについて自分の考えを述べ、また文章にまとめることができる。 (2) 英語学および関連領域についての豊かな専門知識を基盤として、自らの視点から目標学修言語を通して発信することができる。 (3) ITスキルを駆使して収集したデータを分析し、結論を導いて発表することができる。				(1) 現在の知識をもとに新しい情報を常に収集し学び続けることで、急激に変わりゆく現代社会に貢献できる能力を有する。		(1) 西洋の文化の理解を深め、東西文化を融合して新しい文化の創造に貢献することができる。 (2) 異文化体験や異文化理解を通じて培った多文化への許容性を活用し、理解ある構成員として多文化共生社会で活躍する。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)	DP4(2)
301	日本語教授法 B	半期	講義	○	○	○		○		
302	文章表現法 A	半期	講義	○	○			○		
303	文章表現法 B	半期	講義	○	○			○		
304	日本語情報処理研究 A	半期	講義	○			○	○		
305	日本語情報処理研究 B	半期	講義	○			○	○		
306	日本語教育学演習 A	半期	演習		○	○		○		
307	日本語教育学演習 B	半期	演習		○	○		○		
308	日本語教育学 A	半期	講義	○	○	○		○		
309	日本語教育学 B	半期	講義	○	○	○		○		
310	日本語特別演習 A	半期	演習	○	○	○		○		
311	日本語特別演習 B	半期	演習	○	○	○		○		